あいさつ１００％の挨拶

平成２０年

学　校　だ　よ　り　　３月　ＮＯ．１４

http://www.funakoshi-e.educity.hiroshima.jp/　　広島市立船越小学校　平田健三

コミュニケーション，かかわりあい　を大切に

勉強はいいものです　ー6年生のみなさんにー

もう、皆さんとは会えないかもしれませんが、お互いにうんと勉強しましょう。

勉強というものは、いいものです。国語や算数が、学校を卒業してしまえば、もう何も役に立たないものだと思っている人がいるかもしれませんが、大きな間違いです。何でも時間の許す限り勉強しておかなければなりません。日常の生活に直接役に立たないと思われる勉強こそ、将来、きみたちの人格を完成させるのです。なにも自分の知識を誇る必要はありません。勉強して、勉強して、それから、けろりと忘れてもいいんです。覚えるということが大事なのではなく、大事なのは、カルチベートされるということなんです。

力ルチャーと言うのは、公式や単語をたくさん暗記していることではなくて、心を広く持つということなんです。つまり、愛するということを知ることです。

学生時代に不勉強だった人は、社会に出てからも、エゴイストが多い。学問なんて、覚えると同時に忘れてしまってもいいものなんです。けれども、全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底にひとつかみの砂金が残っているものです。これです。これが尊いのです。

勉強しなければいけません。そうして、その学問を生活に無理に役立てようとあせってはいけません。ゆったりと、真にカルチベートされた人間になることです。

これだけです。私の言いたいのは。ご健康をお祈りします。

（太宰　治『正義と微笑』より抜粋。一部文言を変えています。）

※突然教師を辞めることにした英語教師黒田先生の言葉です。勉強とはこういうものではありませんか。今は少し難しく感じるかもしれませんが、いつか心に落ちるときがあると思います。

音楽発表会を成功させた6年生のみなさん、6年間の集大成としての卒業式にみなさんの力のすべてを注いでください。

第２１回感動作文コンクールにおいて６１７校、１７，０６４編の応募作品の中から入賞者７０名が決定し、その中に本校の児童1名が入りました。

6年　宇野　澗　「組体操　心の成長」

文部科学省後援・**第３回「しきなみ子ども短歌コンクール」**には、６８，２５９名から応募があり、優秀１００首に本校から児童1名が選ばれました。

3年　市坪　菜々美

「父さんのトラックいいね見はらしが仕事の顔もほこらしげだね」

私どもが昨年の四月から朝、通学路に立っていますが、あいさつについては、目標の一〇〇％はほぼ達成されていると感じています。声も大きくなりました。笑顔も出ています。時として気げんの悪い日があるらしく「おはよう」の声が返ってこないことがありますが、これくらいはどうってことはありません。とにかくみなさんの元気が一番です。

人生楽しいことばかりではありません。つらい日ばかりでもありません。空も雨の日、風の日、晴れの日いろいろです。人間もいろいろです。何ごとも人と比較してあれこれ考えず「がまん」「努力」「勇気」を心がけて進んでください。学校では、みんな仲よく力を合わせてがんばりましょう。

みなさんは　船越の宝です。

※地域の方からお手紙をいただきました。四年生に向けたパンジーのお礼の後に、右のような言葉が記されていました。また、学校協力者会議委員の方からも、朝の見守りに立っていたら、「毎日『毎日ありがとうございます』といわれ大変感動した」という声を子どもからかけられ大変感動したという声を寄せていただきました。挨拶への取組は今後も継続して力を注いでまいりたいと思います。安心、安全、明るい町づくりのためにもみんなで声かけをしていきましょう。

3月１３日（木）午後
3月１４日（金）午後
教育相談日（１年生～５年生）を上記のとおり設定しております。

２学期制導入に伴い、本年度は年１回の個人懇談会（１０月）と年２回（７月、３月）の教育相談（希望者による）　を設けてみました。 積極的にご活用ください。尚、本年度の懇談会、教育相談の持ち方について意見等がありましたらお聞かせいただければ有り難く思います。。

保護者の皆様、地域の皆様
１年間ありがとうございました。

いよいよ本年度最後の3月に入りました。大きな行事も残すところ、「教育相談」「卒業式」「修了式」となりました。この１年間、本校の教育活動に多大なるご理解，ご支援を賜りましたこと、心より厚くお礼申し上げます。児童の見守り活動、学習への支援等々、具体的に挙げればきりがないほどです。本当にありがとうございました。